

## 令和7年度 九小の国分寺学の実践をいくつか紹介いたします

### ①2年生 生活科「えがおのひみつ たんけんたい」

身近な町の笑顔のひみつについて探るため、21 チームに分かれてお店や施設などを中心に、そこで働く人たちにインタビューに行きました。店の人が仕事を頑張れる理由や、お客さんを笑顔にするための工夫について話を聞き、友達や家の人に向けて発表会を行いました。この学習活動を通して、町でふれ合う人たちの素敵なお話をたくさん見付けることができました。



### ②5年生 総合的な学習の時間「お米博士になろう」

総合的な学習の時間に、九ちゃん農園で赤米を育てる活動を行いました。国分寺赤米会の方々に赤米についてのお話をいただき、植ええから収穫、脱穀まで取り組みました。また、収穫したお米は保護者ボランティアの方々にもご協力いただき、バケツ稲として育てたお米とともに、学校で食べ比べを行いました。国分寺で大切に守ってきた赤米に触れることで、地域への愛着を深めることができたとともに、食べられる量のお米を収穫することの大変さも学ぶことができました。



### ③6年生 総合的な学習の時間「藍うつ九ちゃん」

この学習は、コミュニティ・スクール協議会の方々が主催し、地域交流を目的として九小の施設を活用して販売活動等を行っている「九ちゃん広場」を題材に、地域の良さを再発見することをねらいとしています。

子どもたちは、日本に受け継がれてきた藍染文化に触れる藍染体験を行い、地域の方々の思いや願いを学びました。また、九ちゃん広場をさらに盛り上げるための商品開発にグループで取り組み、考えたアイデアを地域の方々に向けてプレゼンしました。さらに、完成した商品を実際に販売する活動を通して、多くの人と関わりながら、地域の温かさやつながりを実感する姿が見られました。

これらの学びを通して、子供たちは地域への愛着を深めています。



### ④4年生 総合的な学習の時間「恋ヶ窪村分水見学」

総合的な学習の時間に「恋ヶ窪村分水」の見学を行いました。社会科「とどけよう命の水」において学習した玉川上水の役割や歴史についての理解を深めることを目的とし、講師の鈴木まき子先生をお招きしました。児童は、自分たちが暮らす身近な地域に、教科書で学んだ歴史的な施設が残されていることにとても驚いていました。また、普段は立ち入ることのできない堀の内部を見学することで、水の流れや分水の工夫をより具体的に理解することができました。見学を通して、地域の人々が長い年月をかけてこの貴重な分水を守り続けてきたことを知りました。児童からは「自分たちもこの歴史を受け継ぎ、大切に守っていききたい」という思いが、振り返りシートの記述に多くみられました。

